

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県青年の家	指定管理者	山形県青年の家管理企業体
所在地	山形県天童市小路 1-7-8	県担当課	教育局生涯教育・学習振興課 (203-630-3126)
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和11年 3 月31日		
検証期間	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月31日	(電話番号)	

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況			
① 管理・運營業務の履行状況	- 施設の管理・運営は、仕様書に基づき実施した。 - 経年劣化で生じたピンホールが原因で施設内給水管から漏水が発生したが、少量のうちに早期発見できたため周辺への漏水被害を生じることなく修繕を行う事が出来た。 - 熊の出没報告が相次いだことを踏まえ、対応マニュアルを作成・運用し、利用者及び職員の安全確保に努めた。 「一般応急手当 (AED) 講習会、エビペン講習会、衛生講習会、消防訓練、不審者対応訓練」などの講習会や訓練を実施し対応能力の向上を図った。 - 誘客活動の一環として、10月に村山地域の大学・専門学校等の学校関係、企業、地区商店街、県の中企業スタートアップ支援窓口等を訪問した。 - 廃棄物処理については、ゴミの分別・削減に心がけ、研修生へもゴミの削減・持ち帰りを促している。産業廃棄物はマニフェストを交付のうえ適切に処理している。	評 価	《評価の理由》 - 管理運営について、包括協定の仕様書に基づき、適切に行われている。 - 施設の老朽化が進み、管理が難しくなっている中で、適切に点検・修繕を行い、早期に対応している。 - 安全確保や緊急時対応等、利用者が不安なく利用できるような対策や研修をしている。 - 指定管理者のノウハウを生かした広報活動、経費削減に努めている。
② 管理・運営上の課題、問題点 (改善すべきこと)	- 給水管の経年劣化は施設全体で進み、漏水は今後も発生が予想される。地下受水槽の地上移設も必要との指摘を受けており、水道系の全面改修が望まれる。 - 以前より体育館床の部分的な盛り上がりが指摘されており、利用前の情報共有で転倒事故を防ぐよう働きかけを行っているが、抜本的な対策には至っていない。全体的に蒲鉾状の盛り上りも指摘されており、窓サッシの更新や外壁・天井への断熱材設置など、利用者の安全の為に対応すべき事項が多く残されている状況である。 - 熱中症警戒アラートが発令されるなど、暑さが年々厳しくなっているが、市街地との隣接しており換気などだけではとても対応できない。エアコンの設置など更なる暑さ対策が求められる。	《課題等の原因分析》 - 施設設備の老朽化が進み、大規模修繕が望まれる箇所が増加。利用者の安全のために適切な対応が必要となっている。 - 酷暑対策について、利用者への注意喚起だけでは対応することができなくなっている。	
課題、問題点への今後の対応	施設設備の老朽化に対しては、利用者の安全確保を第一とし、引き続き、県と指定管理者で協議しながら、適切に必要な修繕を実施していく。		
2 利用者からの要望等への対応			
① 意見・要望等及びその対応状況	- 利用者アンケートや直接いただいたご意見・要望は全体で共有し、改善可能なものは迅速に対応している。一方で、費用や時間を要する課題については、慎重に県と協議し、試行や検討を重ねながら対応を図っている。 - 夏の暑さで健康被害が出かねない状況が続き、クーラー設置の要望が続いている。日中の体育館利用については「ヒエスポ」の活用および1階談話室を避難場所として活用し、クーラーを使用することで対策を講じている。夜間就寝時にしっかりと休息が取れるよう、消防署とも連携の上クーラーのある研修室へ避難を促し熱中症防止に努めているが部屋数も少なく宿泊受入数の制限につながっている。	評 価	《評価の理由》 - 利用者の意見が要望に対し、可能な範囲で迅速に対応している、 - 暑さに対し、可搬式エアコンを有効活用している。また、関係機関とも連携して利用者の安全対策を講じている。
意見・要望等への今後の対応	- 今後も利用者アンケート等を実施し、利用者の意見・要望の把握に努めていただく。 - 把握した利用者ニーズについては、可能な限り事業実施や施設運営に反映し、引き続き利用者の満足度向上に努めていただく。 - 暑さ対策について、利用者からの要望は引き続き見られている。県としても冷房設備の設置等、今後の対応を検討していく必要がある。		

